

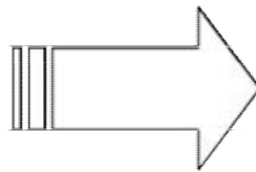
I 清須市の事例

- ① 「ふわっと言葉がつかえるように」(小学校2年生)
- ② 「気持ちをコントロールできるように」(小学校2年生)
- ③ 「気持ちを言葉で伝えることができるように」(小学校4年生)
- ④ 「気持ちを切り替えて活動に参加できるように」(小学校3年生)
- ⑤ 「日課表にそって活動し、持ち物が意識できるように」(小学校4年生)
- ⑥ 「教室から出るときは、約束を守れるように」(小学校3年生)
- ⑦ 「計算に自信がもてるように」(小学校5年生)
- ⑧ 「黒板の字をノートに書くことができるように」(小学校4年生)
- ⑨ 「文節を区切って音読できるように」(小学校2年生)
- ⑩ 「自分で板書を写したり音読をしたりできるように」(小学校2年生)

通級指導教室
での支援

つなぐ

通常の学級
での支援



ふわっと言葉がつかえるように

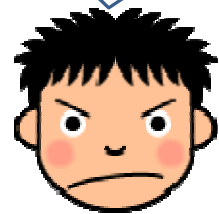
こんな児童です (小学校2年生)

- ・ 友だちに「おまえが悪いんだ」などちくちく言葉を言うってしまう。
- ・ 遊びに夢中になり、授業の用意など、皆と同じようにできないことがある。

担任の願い

- ・ 友だちとうまくコミュニケーションがとることができる。
- ・ やるべきことをしてから遊ぶことができる。

おまえの
せいだぞ!

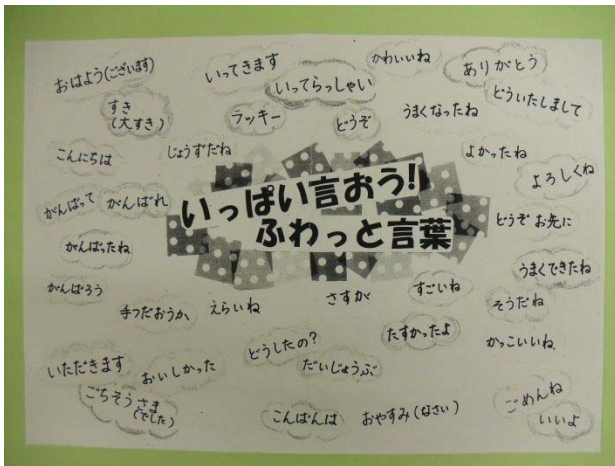


通級による指導での実践

◎ 友だちとうまくコミュニケーションをとる方法を学ぶ



【「ふわっと言葉」「ちくちく言葉」を考える】

- ・ 自分の生活の中から、「ふわっと言葉」をかけるとよい場面を探す。
- ・ 気をつけたい「ちくちく言葉」を自分で考え、ポスターを作る。



【感情に合った表情を考える】

- ・ 気持ちと表情の合わせゲームをする。
- ・ 日頃の表情を見直す。

謝るとき → 
お礼を言うとき → 

【グループ活動のルールを考える】

- ・ 「グループで活動するとき」に気をつけることを考え、ポスターを作る。



通常の学級での実践

通級による指導を生かして

(学びの連続)

◎ 友達とうまくコミュニケーションをとる

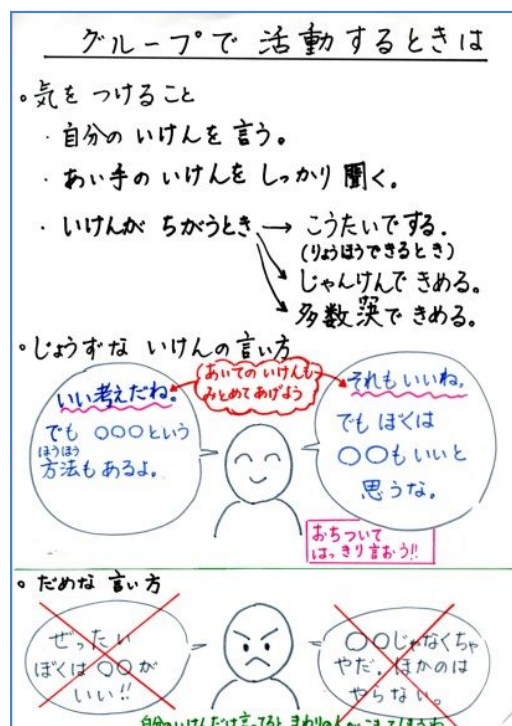
【実践例】

友達とのトラブルがあったとき

- ・ 「ストップちくちく言葉」のポスターを見る。
- ・ 謝るときの顔の表情について振り返る。

グループ活動をするとき

- ・ 「グループで活動するときには」のポスターを見て自分の行動と比べる。



★★通級による指導との連携★★

- ・ 通級指導教室で作成したポスターをすぐ見られるように教室に掲示し、トラブルがあったときには、担任と一緒に見る。

取組の工夫

- ・ ふわっと言葉をつかえたときには褒めるようにする（連絡帳で保護者や通級による指導担当教員にも知らせ、様々な場面で褒める）。
- ・ 多くの友だちからも、良いところを帰りの会などで発表していく。

成 果

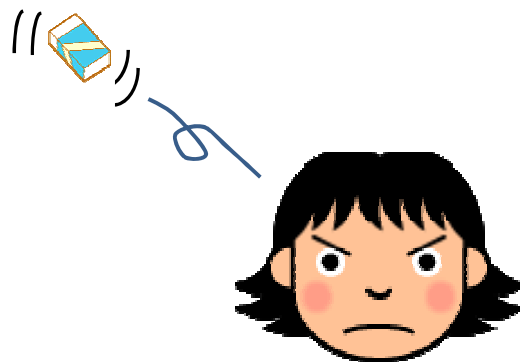
- トラブルの程度が軽くなり、手を出す回数が減ってきた。
- 「ありがとう」や「ごめんね」などの言葉をつかおうとするようになり、友達を手伝う行動も増えてきた。
- 学級の他の児童も、良いところを認めるようになってきた。
- 人の話を聞くなど、学級のルールが分かってきた。



気持ちをコントロールできるように

こんな児童です (小学校2年生)

- ・ 授業中、気分が落ち着かないときや集中ができないときに離席することがある。
- ・ 注意されると、物を投げたり、大声をあげたりすることがある。



担任の願い

- ・ 自分で気持ちをコントロールできるようになる。
- ・ 自分の席に座り、1時間授業を受けることができる。
- ・ 気持ちが落ち着かないときは、担任に申し出ることができる。

通級による指導での実践

◎ 気持ちをコントロールする方法を学ぶ

【怒りを抑える方法】

- 1 「怒り」の中にある
いろいろな気持ちを知る。
- 2 怒っていることを別の気持ちの
言葉で伝える練習をする。



周りの声がうる
さくて怒れた



【例】うるさいので、聞こえなくて困ります

【例】うるさいので、いらいらしています

- 3 怒っている人を見ている
周りの人の気持ちを考える。



【いやな気分になったときの気持ちを切りかえる方法】

- ・ 緊張しているとき → 肩を回してみる
- ・ 寂しいとき → 好きな歌を歌ってみる
- ・ ものすごく怒っているとき → 深呼吸を試してみる

◎ 気持ちのコントロールを試みる

【「気分をチェンジ」の活用】

(留意点)

- ・ いやなことがあったとき、自分の気持ちに近い表情の顔をめぐり気持ちをコントロールする方法を担任と一緒に確認する。



★★通級による指導との連携★★

- ・ 児童の様子について話し合い、児童の状況（気持ち）を把握しながら支援に当たる。また、通級指導教室で作った「気分をチェンジ」を通常の学級でも使う。

取組の工夫

- ・ 友達からも「気分をチェンジ」を見るように、声をかけるように指示する。
- ・ 「気分をチェンジ」では、表情を絵で表し、視覚的に捉えやすくする。
- ・ 落ち着かないときには、行く場所ともどる時間を担任に伝えて教室を退出させる。

成果

- 穏やかな表情で生活する場面が増えている。
- 教室から退出するときも、約束した5分ほどで教室にもどれるようになっている。
- 友達の声かけも増え、気持ちをコントロールしている場面が多く見られる。

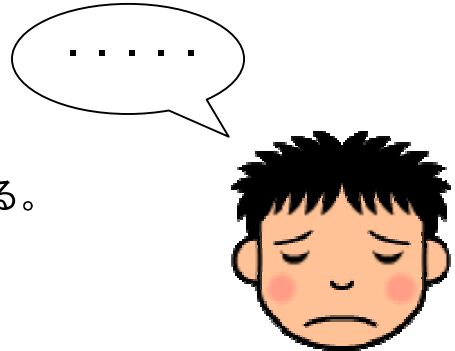
気持ちを言葉で伝えることができるように

こんな児童です（小学校4年生）

- ・ 気持ちを伝えることが苦手である（気持ちを聞くと「普通」と答える）。
- ・ 相手の気持ちを察することが苦手である。

担任の願い

- ・ 自分の気持ちが言葉で伝えられるようになる。
- ・ 他の児童と歩調を合わせて行動できるようになる。
- ・ 健康観察で自分の健康状態が言えるようになる。
- ・ 音読や歌の発表等ができるようになる。



通級による指導での実践

◎ いろいろな気持ちがあることを知る

【いろいろな気持ちと自分の気持ちを比べる】



◎ 物のやりとりを通して簡単な会話をする

- ・ 職員室に出かけ、職員室の先生に物をもっていく。
 - ・ 教室にもどり、担任に申し出て、必要なものをもってくる。
- ※ 担任に児童が行くことを事前に伝えておく。



通常の学級での実践

通級による指導を生かして

(学びの連続)

◎ 文字で会話をする

【先生と連絡帳で会話する】

取組の工夫

- ・ 相手の顔を見て、連絡帳や提出物を渡すようにさせる。
- ・ 言葉が言えたときには褒めたり、感想を言ったりするなど会話が続くようにする。

楽しかったんだね

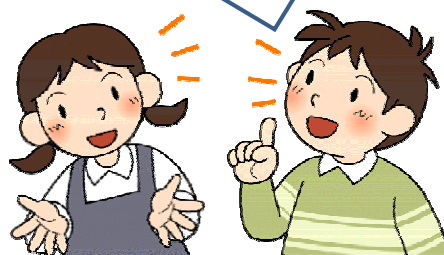


◎ 友達と関わる機会を定期的に設定する

【クラス遊び】



伝言します
.....



取組の工夫

- ・ フルーツバスケットなど、体を動かし開放的な気分でクラス全体と関わることのできる遊びを計画する。
- ・ 伝言ゲームなど短い会話がある遊びを取り入れる。
- ・ 良いところさがしなどを日頃から行い、お互いに認め合えるクラス作りに心がける。

★★通級による指導との連携★★

- ・ 通級指導教室と通常の学級を行き来させ、通級による指導担当教員と話す機会を増やす。

成 果

- ・ 音読や歌、発表では、小さい声だが発声できるようになっている。
- ・ 健康観察で自分の体調を言えるようになった。
- ・ 分からないことを先生に聞ける場面が少しずつ増えている。

今日は元気
です

